

DR. TUOMO SUNTOLA (トゥオモ・ストラ博士)



2018 MILLENNIUM TECHNOLOGY PRIZE

ALD 発明者であり、Picosun 社取締役である同氏が 2018 年ミレニアム技術賞を受賞

2018 年 5 月 22 日、原子層堆積法 (ALD: Atomic Layer Deposition) の発明者であるトゥオモ・ストラ (Tuomo Suntola) 博士が、そのライフワークを表彰され、2018 年のミレニアム技術賞を受賞しました。ミレニアム技術賞は、よりよい生活のための技術革新に対してフィンランドが贈っている賞です。賞金はこの種のものとしては世界最大級の 100 万ユーロ相当であり、表彰は 2 年に一度行われます。この賞は社会、ひいては人類全体に対する科学技術革新の広い影響を重視しており、世界中のあらゆる分野の科学者が候補対象です。

ストラ博士は 1974 年にすでに ALD を発明していましたが、当時は時代が技術に追い付いていませんでした。2007 年によりやくマイクロチップメーカーのインテルがトランジスタ製造に ALD 技術を使い始めたことで、半導体産業全体に革命を起こし、ALD の需要は爆発的に増大しました。今日、ALD はパソコンやタブレット、スマートフォン、LED 照明、様々なセンサ類や自動化装置はもちろん、時計部品・宝石・コレクターコインや、医療器具、インプラント、製薬など、あらゆるものに使われています。

ストラ博士は、2004 年に設立された Picosun にまずは技術アドバイザーとして、やがて取締役兼株主の一人として最初期から参加しました。博士は現在も取締役兼株主として、会社の発展にご活躍されています。

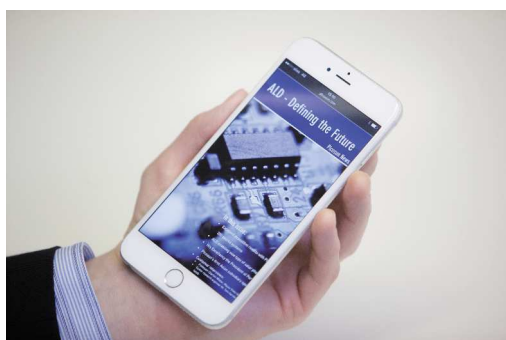
「ストラ博士の技術革新が ALD 法の大規模な商業利用に道を拓いた。彼は、マイクロエレクトロニクスと情報技術分野における原子層堆積と薄膜技術に大きな可能性を見出したのだ」
— ミレニアム技術賞選考協議会委員長 パイヴィ・トルマ (Päivi Törmä)

「ストラ博士の功績は全人類へ利益をもたらした。今日当たり前のように使われている超効率エレクトロニクスは ALD の上に成り立っている。医療技術は ALD によってまさに大きく躍進しようとしており、同じことが近い将来さらに多くの産業において起こることになるだろう」

— Picosun 社代表取締役兼 CEO
クスター・ポウティアイネン (Kustaa Poutiainen)



1980 年代、EL ディスプレイに ALD は初めて産業利用されました。



今日私たちの手近にあり、四六時中つながっている様々な現代情報技術はストラ博士のおかげといえるでしょう。



2018 年 5 月 22 日トゥオモ・ストラ博士は ALD 技術発明を表彰され、2018 年のミレニアム技術賞を受賞しました。賞はフィンランド共和国 サウリ・ニーニスト大統領から贈呈されました。
Photo: Technology Academy Finland (フィンランド技術アカデミー)